

高病原性鳥インフルエンザウイルスを不活化！

国立大学の試験で評価された、これまでにない液剤

「Jeffect(ジェイエフェクト)」を発表

認定企業による塗布施工サービスを提供開始

TECH まほろば株式会社(所在地:奈良県奈良市芝町三丁目9番13-6号 代表取締役 岡原治男)は高病原性鳥インフルエンザウイルスに対し不活化効果が確認された液状触媒※「Jeffect」を開発し、認定企業の株式会社修仁カンパニー(所在地:京都府京都市山科区小山中ノ川町 67 代表取締役 塚田 仁)が塗布コーティング施工するサービスの提供を開始します。昨今、拡大する鳥インフルエンザウイルスに対して感染予防効果が期待でき、養鶏畜産農家の生業継続、鶏等の感染家畜の殺処分の減少、ひいては食料の安定供給にもつながる防疫触媒です。新型コロナウイルス等のエンベロープウイルス※にも効果が期待でき、防臭・防カビ効果も期待できることから、病院をはじめとする公共施設などにも有効です。

また今後新たに発生してくるであろうエンベロープウイルス対策の一つになると期待しております。

※ウイルスの一種で、ウイルス粒子(ウイルス粒子を構成するウイルスコア)が、脂質二重膜で覆われているウイルスのこと。

インフルエンザウイルスやコロナウイルスなど。

※液状触媒とは、液状の触媒を噴霧し壁面等をコーティングする薬液となります。

1. 高いウイルス不活化率 10分で99.68% 2時間で99.94%を実現

ウイルス不活化試験は、Jeffectを標準綿布に塗布し、自然乾燥させたものを使用。

反応時間を10分 1時間 2時間と変えて抗ウイルス効果を測定。

【10分間のウイルス不活化率・99.68%】 【1時間・99.82%】 【2時間・99.94%】

2. A型インフルエンザや新型コロナウイルスにも効果期待。防臭、防カビにも効果期待

下記・各試験機関

H3N2 亜型(A型インフルエンザ):一般財団法人ニッセンケン品質評価センター

SARS-CoV-2(新型コロナ):一般財団法人日本繊維製品品質技術センター(QTEC)

防臭・防カビ:一般財団法人ニッセンケン品質評価センター

3. 国立帯広畜産大学との共同研究にて実証

国立帯広畜産大学との共同研究にて、高病原性鳥インフルエンザウイルスに対する不活化効果のエビデンスを取得、高い信頼性でユーザーに安心感を提供。

4. 約半年～1年にわたり持続的な効果が期待できる触媒液でのコーティング

消毒液が一時的な効果に留まるのに対して、Jeffect は触媒で壁や天井をコーティングする為、持続的に効果を期待できます。触媒液とは化学反応を促進するために使用される液体の触媒のことです。

5. 高い信頼性と安全性かつ低い施工費を実現

経口毒性、皮膚一次刺激性、大腸菌に対する遺伝子変異試験においても安全性の高さを評価済みです。

高い物であれば㎡単価 3,000 円程度はする抗菌コーティング系商材より3割以上抑えた施工費で、高い効果を提供いたします。

※主成分;酸化チタン ケイ素化合物等

Jeffect の想定される用途(防疫・抗菌・消臭)

・養鶏施設や畜舎など・病院などの公共施設・船舶などの密閉空間・避難所や難民キャンプなど緊急対応場所・一般家庭



TECH まほろば(株)/(株)修仁カンパニーについて

【TECH まほろば株式会社】

本社所在地:奈良県奈良市芝辻町三丁目9番13-6号

代表取締役:岡原 治男

事業内容:化学薬品に関する開発・製造・販売・技術、研究に関するコンサルティング業、教育文化事業等

設立:平成27年3月3日

【株式会社修仁カンパニー】

本社所在地:京都府京都市山科区小山中ノ川町 67

代表取締役:塚田 仁

事業内容:建築一式工事業・内装仕上工事業・公害環境農業関連装置機器の施工販売業・不動産業・経営コンサル業

設立:平成29年4月21日

取材の問い合わせ先について

株式会社 修仁カンパニー担当 専務執行役員 前平義樹

直通 090-3840-8638

Mail maehira@shuuji.co.jp

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社修仁カンパニー、広報担当 前平 TEL : 090-3840-8638 MAIL : maehira@shuuji.co.jp